

第 11 回地域の交通環境対策推進者養成研修会の開催結果

1. 開催概要

【第 11 回 地域の交通環境対策推進者養成研修会（大田市）】

期 間 2023 年 9 月 27 日(水)～9 月 29 日(金)

会 場 島根県立男女共同参画センター「あすてらす」(※見学会以外)

主 催 EST 普及推進委員会、
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（エコモ財団）、
国土交通省中国運輸局

参加者 12 名

〔カリキュラム〕

【1 日目】講習会および全体見学会

講習①「持続可能な交通まちづくりを考える –EST の視点から–」

谷口 守 筑波大学 教授

講習②「世界遺産石見銀山大森地区における GSM を中心とした地域内交通整備事業」

下垣 英樹 大田市 産業振興部 観光振興課 課長

講習③「石見銀山エリアにおける取組」

松場 忠 株式会社 石見銀山群言堂グループ 代表取締役社長

河村 政二 レンタサイクル河村 代表

全体見学会(石見銀山資料館見学、ぎんざんカート試乗、龍源寺間歩視察等)

情報交換会

【2 日目】3 グループに分かれての検討・見学および政策課題検討会

■グループ 1：地方部の地域公共交通の活性化と GX に向けて

加藤 博和 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授

■グループ 2：地域との対話を通じて地域交通のあり方・施策を考える

～地域が一体となった移動手段の持続的な運営を題材として～

谷口 綾子 筑波大学 システム情報系 教授

鈴木 春菜 山口大学大学院 創成科学研究科 准教授

【3 日目】2 日目に引き続き、3 グループに分かれての政策課題検討会及び全体討論会



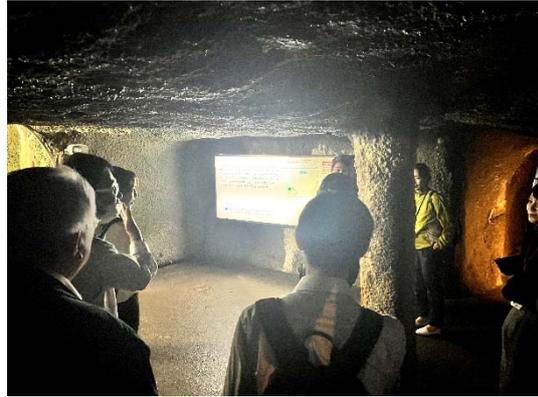
開会挨拶(中国運輸局)



開会挨拶(エコモ財団)



全体見学会(龍源寺間歩)



全体見学会(龍源寺間歩見学)



全体見学会(ぎんざんカート試乗)



全体見学会(ぎんざんカート試乗(大森の町並み))



全体見学会(大森の町並み)



全体見学会(講習③)



情報交換会(加藤先生挨拶)



情報交換会(谷口(綾)先生挨拶)



情報交換会(鈴木先生挨拶)



情報交換会(下垣課長挨拶)

2. 講習会

講習① 持続可能な交通まちづくりを考える –ESTの視点から–

〈概要〉

- 自家用乗用車から排出される二酸化炭素排出量は他の交通モードと比較しても、特に多いことが分かっている。今後の二酸化炭素排出量抑制の道のりをみると、2030年度には2013年度比26%減、2050年度には、排出実質ゼロを目指すこととなっている。
- IPCC1.5°C特別報告書によると、現在の進行速度で温暖化が続けば、2030年から2052年の間に地球の気温が1.5°C上昇すると予測されている。
- 第7回全国都市交通特性調査結果（2022.11）によると、コロナ禍によって外出の減少に拍車がかかると同時に、自動車の分担率が増加した。
- 地方都市圏では、1人当り自動車CO2排出量が多く、依然として自家用車移動に依存している状況である。
- 公共交通は、環境はもとより生活を支える基盤としての役割を担っている。一方で、働き方改革、健康管理の義務化に伴い、ドライバー不足が深刻化し、タクシー・バス事業の撤退は全国的な課題となっている。
- スイスやイタリア等の諸外国の事例を見ると、限られた人的資源の中でサービスを提供するために時間単位でサービスをマネジメントしている例がみられる。また、移動販売、郵便やバスを組み合わせ、小さな需要をまとめてサービスを提供している事例もみられる。
- 現状の公共交通サービスを支えるために必要な1人当たりの平均負担額を試算すると、約5万円/年となっており、広域型のサブスクリプション制度のような方法でサービスを維持することも可能であると考えられる。オーストリアでは、寄稿チケットを約12万円(1日あたり約340円)で販売し、すべての公共交通機関が1枚のチケットで乗り放題となるような制度を整備している。
- 公共交通サービスの存在価値を図る方法として、様々な分野の移動を公共交通サービス以外で代替した場合の費用を概算する方法がある。公共交通サービスが医療や商業等の様々な分野の移動を支えていることを評価することが必要である。

【講習状況】



講習② 世界遺産石見銀山大森地区における GSM を中心とした地域内交通整備事業 〈概要〉

- 石見銀山大森地区は 2007 年に世界遺産登録を受けて、多くの観光客が殺到し路線バスが 1 日 100 往復超運行する日もあった。狭い道で路線バスと自転車・歩行者が輻輳し、危険な状況が続いた。地区としては、オーバーツーリズムの状態であり、交通課題の解決が必要であった。2008 年には地区の合意のもと、路線バスを廃止し、近隣駐車場に駐車してから来訪するパークアンドウォークを導入したが、健康な人でなければ来訪が難しい場所となり、来訪者数が大きく減少した。
- 2017 年から移動制約のある車いす利用者や高齢者等を対象とした移動手段の整備を社会実験で進めた。当初は小型の軽自動車に対応していたが、乗車人員や自家用車の進入規制区間を運行することから、グリーンスローモビリティでの対応に切り替えた。社会実験で安全性等を確認したうえで、環境省の補助事業を活用して、長期の実証実験に取り組んだ。実証実験にあたっては、大田市を中心とした(一社)石見銀山みらいコンソーシアムを立ち上げている。長期の実証実験では、観光地の形成や地域の移動手段の確保、石見銀山大森地区内での CO₂ 排出量の削減等を目的として、グリーンスローモビリティ導入による効果を検証した。実証実験期間中に実施したアンケート調査では、グリーンスローモビリティの運行が石見銀山大森地区への来訪に寄与していることが分かった。また、利用者層として、高齢者・障がい者以外にベビーカーを要する親子連れ等の利用が想定以上に多かった。様々な年代にまんべんなく利用してもらえたことは当初の想定と異なる結果であった。
- 龍源寺間歩の入場者数は現行にあったが、コロナ禍後に回復基調にあるが、オーバーツーリズム・アンダーツーリズムのどちらも経験したことを踏まえて、適切な規模での観光誘客を促進する方向性である。
- 今後は(一社)石見銀山みらいコンソーシアムにおいて検討している地域一体型持続可能なモデルを枠組みでグリーンスローモビリティを活用して、地域の中での回遊性を高めて、収益性を上げることを目指している。

【講習状況】



【講習資料抜粋】

世界遺産石見銀山大森地区における GSMを中心とした地域内交通整備事業

- 鳥根県大田市
- レンタサイクル河村
- 株式会社バイタルロード
- 石見交通株式会社



石見銀山大森町
Ginza Cart

①地域の背景 - グリスロ導入経緯

2017年、政策の転換期を迎える

移転的のあふり（新しい利用、高齢者等）から、移動手段の整備ニーズがあり、市が対応を検討。地域との関わり「移動的のある方向」の移動手段を整備する」社会実験を実施することで各案

●2017年度実験実施（無償）

- 心見山公園～龍源寺間歩道を往復
- 電線沿線距離1400m 1台
- 4月21日～11月28日の5か月間運行
- 非定時定路線（随時運行）
- 乗客半額乗車者、乗車券発行が困難な方、付帯サービス利用可能
- 対象者115名、介助者210名の利用

●2018年度実験実施（無償）

- 心見山公園～龍源寺間歩道を往復
- グリスロモーターバイク（4人乗り）
- 随時定時定路線（随時運行）
- 7月10日～11月28日の5か月間運行
- 定時定路線（11月4日往）
- 乗客半額乗車者、乗車券発行が困難な方、付帯サービス利用可能
- 対象者115名、介助者210名の利用

<初年度の評価>

- ニーズはあり、利用者は高評価
- ただし、競合自動車は1グループ3名までしか乗れないため、グループ旅行に不向き
- 自家用車の入りが自主規制されている区間のため、観光客は乗車しづらいと指摘されており、競合自動車の運行に課題があった

<国土交通省の社会実験のスキームを活用>

- 7人乗り車両を導入し、グループ旅行のニーズを把握
- 運行回数調整で安全性をグリスロとミニバンを比較・評価
- グリスロの運行についての地域住民、観光客の反応性を把握

①地域の背景 - グリスロ導入経緯

2007年、石見銀山大森地区が世界遺産登録を受ける

地域では2006年から社会実験としてバックグラウンド施設を → 世界遺産登録後に多くの観光客が吸引し、路線バスの運行便が多数運行（1日100往復超の日も）

社会実験の終了

路線バス乗車の多い行列

山道で走行して、バスが通れないと観光客の列の混雑が、2008年12月23日

①事業概要 - 運行概要

・ 実施期間：
2019年12月16日(月)～2021年12月31日(金)
(無償)2019年12月16日(月)～2021年3月28日(日)
(有償)2021年4月1日(木)～2021年12月31日(金)

→ 環境事業終了後、2022年4月24日より本格運行開始

・ 運行形態：自家用有償運送(大田市管)、定時定路線

・ 使用車両：ヤマハA8-07 2台

・ 運行便数：夏季(3月～11月) 14往復
冬季(12月～2月) 12往復

・ 運賃：


①事業概要 - コンソーシアムの体制

大田市

企画・調整・統括

バイタルロード

- 各種乗車券発行
- 乗客サービスの提供
- 乗客サービスの提供
- 乗客サービスの提供

石見交通

- 交通実験の調整
- 乗客サービス

レンタサイクル河村

- 乗客サービスの提供
- 乗客サービスの提供
- 乗客サービスの提供

・ コンソーシアムの構成者の検討

- ◎地域内で交通に関係する者（バス事業者、レンタサイクル事業者）
- ◎交通事業に精通する者（コンラ会社）
- ◎代表自治体（当初の背景から交通事務局ではなく観光部局が対応）

・ グリスロ運行における要配慮事項

- ◎バス事業者、レンタサイクル事業者への影響（ルート設定、価格設定での考慮）
- ◎地域住民との対応（定期的な自治会協議会への報告、住民ならではの合意形成）
- ◎地域のブランディング戦略との統一、広報等での協力体制構築

・ コンソーシアムの定期的な活動

- ◎コンソーシアムの開催（月1回定例）：事業経過報告、情報共有、意見交換、コンソ合意形成 等
- ◎LINEを活用した（半ば私的に近いレベルでの）関係性の構築、密な連携

②利用状況の推移

・ 利用状況の推移 ※2020年5月～2021年11月まで車両定員4人に制限

運行期間	年間利用者数	1日あたり平均利用者数	
		平日	土日祝日
2020年度（無償）	4/1～3/28 12,455人	40.6人	59.6人
2021年度（有償）	4/1～12/31 9,255人	33.2人	50.1人
2022年度（有償）	4/24～3/31 18,863人	54.6人	82.5人
【参考】2022年度4～8月	4/24～8/31 8,054人	58.4人	93.7人
2023年度（有償）	4/1～8/31 10,557人	70.8人	96.1人

（前年度+21.2%） （前年度+2.6%）

・ 環境省の実証事業期間中に実施した利用者アンケートより

- ・ ざんざんカートが無い場合に観光を諦めたり、石見銀山に来なかった割合 = 6人/68人
- 10%程度、龍源寺間歩道訪客数の増加に寄与

・ ざんざんカートの利用者層

- ・ 様々な年代がまんばなく利用している（当初の想定と異なる）
- ・ 当初想定は高齢者や障害者の利用が中心
- ・ 実際の利用は高齢者、障害者の利用はもとより、（特にベビーカーを要する）親子連れや若狭自転車に乗り慣れない人の利用が想定以上に多かった

③龍源寺間歩入場者数の推移

・ 龍源寺間歩入場者数は減少傾向にあったが、コロナ後にやや回復基調

- ・ グリスロ運行以降も減少傾向（西日本全域、コロナの影響が大）
- ・ 2023年以降はアフターコロナでの回復を期待（※2023年1～7月間歩入場者数42,982人 = 前年同月比137%）
- ・ ただし、オーバーツーリズムの懸念もあるため、いたずらに来訪客を増やす方針ではない

・ 龍源寺間歩入場者数の増加に伴い、カートの利用者数も増加が期待

- ・ 一方で、乗り切れないことも課題…
- ・ バリアフリーの方への対応も今後の検討事項

今年の夏の状況

龍源寺間歩入場者数

田交委 630名、臨時委 650名、本任実行

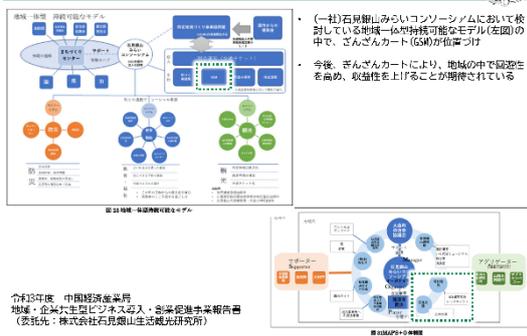


⑤地域の将来像

（一社）石見銀山みらいコンソーシアムにおいて検討している相模湾沿岸部観光モデル（左図）の中で、ざんざんカート（GSM）が位置づけ

今後、ざんざんカートにより、地域の中で観光性を高め、収益性を上げることが期待されている

◎2023年度 中国経済産業局 地域・企業主導型ビジネス導入・影響促進事業報告書（委託先：株式会社石見銀山生活観光研究所）



3. 政策課題検討会

グループ1 地方部の地域公共交通の活性化とGXに向けて

<概要>

- グループ別見学会として、まず、大田内の鉄道・バス・乗合タクシーの現地調査を行った。公共交通での来訪者が市内の観光資源にアクセスする際の情報の分かりづらさや、乗継情報の分かりづらさ等が課題としてあることが分かった。
- 大田市立病院は市内各所へのバス路線が発着し、さらに病院内にバス待合環境が整備されていることから、交通結節点のひとつとして重要な役割を担っていることが分かったが、待合環境の改善が必要である。
- 現地調査から分かった課題を踏まえて、公共交通をより利用しやすくするための方策として、以下の取組みを提案した。
 - 来訪者に分かりやすく安心感を与える情報提供を駅や観光施設で実施
 - 駅や観光施設のバス停を分かりやすい場所に変更
 - 石見銀山大森地区であることが分かるようなバス停名称の変更
 - 石見銀山と三瓶地区を結ぶアクセス手段の設定
 - 大田市立病院の交通結節点としての活用

【グループ別見学会・政策課題検討会の状況】



【発表資料抜粋】



来訪者目線の駅前案内について

課題
駅を利用した来訪者の方向性に温泉津温泉への行き方がわかりにくい

- 温泉津駅から温泉津温泉への行き方が分からない
- 街全体の案内図が駅前から離れている（道路添いに設置）
- 時刻表の乗換案内が来訪者目線になっていない

1.街からみた景色（駅前）
2.来訪者から見た景色

バスやタクシー、車送迎のスペース 温泉津温泉のお出迎えの印象がない

3.時刻表

温泉津	大森	三瓶	大森	温泉津
バス	バス	バス	バス	バス
温泉津のり	列車	温泉津のり	列車	温泉津のり
7:18	7:20	7:22	7:24	7:26

○交通事業者の運行目線
・来訪者の移動を想定した案内となっていない
・列車の上り？下り？

来訪者目線の駅前案内について

ご提案
来訪者目線でのバス案内

- バスの正面を駅側へ停車変更
- 「温泉津温泉行」という表示をお客様へご案内
- 仁万駅のバス停を駅舎側へ変更
- バス停の位置を分かりやすい位置へ変更し、雨天時でもバスへ乗

●温泉津駅
●仁万駅

観光関連（石見銀山エリア）

来訪者目線のご案内 -町並みまでのアクセス-

現状
「世界遺産センター」の部
2400円
バス
大森バス停
大森代官所跡バス停

提案
世界遺産センター
徒歩 50分 (階段あり)
路線バス 5分
大森バス停
徒歩 20分
路線バス 2分
大森代官所跡バス停

「バスで5分」の表記は公共交通利用者に正しく伝わる表現なのか？

観光地関連（三瓶地区） 温泉下の町バス停

温泉下の町 バス停 →
三瓶山周辺のバス停、時刻表が掲載されている

観光地関連 石見銀山⇄三瓶地区について

・三瓶温泉に実際に行かれた観光客（バス利用）
→石見銀山に行きたかったが、バスの接続が悪く、三瓶で温泉に入るのみ

石見銀山⇄三瓶地区、温泉津地区へのアクセスを良好に
→公共交通で石見銀山に訪れた方に、大田市内での滞在時間をより長く！

病院の交通結節点としての活用について

結節点としての市立病院

【課題】

- 大森石見銀山～三瓶間移動の場合、市立病院で他線へ乗り換えできず、わからず、バスセンターまで行って30分以上ロス。
- 待合場所に空調がない。

病院の交通結節点としての活用について

結節点としての市立病院

【市立病院の写真】

グループ2・3：地域との対話を通じて地域交通のあり方・施策を考える ～地域が一体となった移動手段の持続的な運営を題材として～

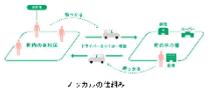
〈概要〉

- 石見銀山大森地区の課題を抽出するために、関係者へのインタビュー調査や利用者へのヒアリング調査を実施し、行政・住民、外国人観光客の視点、国内観光客の視点で課題を整理した。
- 主な課題としては、地域の移動手段の持続的な体制構築や観光を楽しめるような付加的なサービスの提供、石見銀山大森地区に関する基礎情報の提供が挙げられる。
- 整理した課題にサービスのハード面、ソフト面、インフラ、ビジネスモデル、まちづくりの観点で、以下のように提案した。
 - サービスのハード面として、乗合タクシーのシステム導入やシェアサービスの検討
 - サービスのソフト面として、来訪の玄関口の一本化や観光マップの改善、地区内のフリーパスの検討
 - インフラとして、路線バスのパターンダイヤ化や世界遺産センターの交通結節点としての活用
 - ビジネスモデルとして、貨客混載や温泉津の旅館送迎バスの活用
 - まちづくりとして、安全や住民満足度を高める施策の実施

【グループ別見学会・政策課題検討会の状況】



【発表資料抜粋】

<p style="text-align: center;">2023年9月30日（金）</p> <h2 style="text-align: center;">石見銀山 大森町の移動を考える</h2> <div style="text-align: center;">  <p>FST研修 グループ・3発表</p> <p>嶋崎 五、伊藤 裕、小倉 正二、佐藤 年美、島田 大、山口 聖也、山田 正人、根山 尚美（塾講師・五十音順）</p> </div>	<h2 style="text-align: center;">関係者インタビュー調査</h2> <p>「レンタサイクル河村」を運営する河村氏に対し、約70分程度、インタビュー調査を実施した。</p> 																																																																																				
<h3>調査結果（河村氏へのヒアリングより）</h3> <ol style="list-style-type: none"> ①貨客混載について検討はされているか。 <ul style="list-style-type: none"> 過去に佐川とヤマトに声掛けをしたことがある。 セキユリティや決済に懸念を示したため最終的に実現出来なかった。 ②「ノッカル」のような取組は実施されているか。 <ul style="list-style-type: none"> ノッカルのような取組はないが、似たような取組は自発的に行われている。 ③デマンドタクシーの運行は検討されているか。 <ul style="list-style-type: none"> デマンドの実験を過去（令和元年10月から令和2年3月末）に行い好評だった。 実行から運行まで一人でやっており、継続性が持たなかった。 	<h3>現地調査</h3> <ol style="list-style-type: none"> 1 「代官所」と「武家・町屋」のエリアに分かれて散策調査 2 ぎんざんカートについての調査 3 レンタサイクルの現地調査について 																																																																																				
<h3>現地調査 「代官所」と「武家・町屋」のエリアに分かれて散策調査</h3> <h4>A 代官所</h4> <table border="1"> <thead> <tr> <th>人種</th> <th>性別</th> <th>年齢</th> <th>乗務時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>2</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>3</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>4</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>5</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>6</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>7</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>8</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>9</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>10</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>11</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>12</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>13</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>14</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>15</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>16</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>17</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>18</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>19</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> <tr><td>20</td><td>男性</td><td>70代前半</td><td>約3分</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 服装...比較的暑やすい服装が多かった。（長ズボン・スニーカー等） 表情...歩行中：解放人の場合、笑顔で笑顔 <p>自転車乗客数：真夏日全日（一）</p>	人種	性別	年齢	乗務時間	1	男性	70代前半	約3分	2	男性	70代前半	約3分	3	男性	70代前半	約3分	4	男性	70代前半	約3分	5	男性	70代前半	約3分	6	男性	70代前半	約3分	7	男性	70代前半	約3分	8	男性	70代前半	約3分	9	男性	70代前半	約3分	10	男性	70代前半	約3分	11	男性	70代前半	約3分	12	男性	70代前半	約3分	13	男性	70代前半	約3分	14	男性	70代前半	約3分	15	男性	70代前半	約3分	16	男性	70代前半	約3分	17	男性	70代前半	約3分	18	男性	70代前半	約3分	19	男性	70代前半	約3分	20	男性	70代前半	約3分	<h3>大好きな島根のまち“大森”</h3> <p>70代東部在住 島根に引っ越るうちに乗れる農家の話 秘めて来たから 観光案内所でもどこぞ行けばいいの 分からないから どこを見たらいいの分からない</p> <p>70代西側山荘住 奥出雲への道の駅に、今朝みたTVに当 かれて立ち寄った。 行動がなく、どこぞどう行けばいいの分 からない。 散歩に行けなかったのでもまだ未だです。</p> <p>出雲市から買い物の行くまで来る 車は代官所に駐車 石見銀山は16時まで乗用車の通行を制限し ているため、 ことも近道はせざるに迫っている。</p> <p>また来たしまた大森</p>
人種	性別	年齢	乗務時間																																																																																		
1	男性	70代前半	約3分																																																																																		
2	男性	70代前半	約3分																																																																																		
3	男性	70代前半	約3分																																																																																		
4	男性	70代前半	約3分																																																																																		
5	男性	70代前半	約3分																																																																																		
6	男性	70代前半	約3分																																																																																		
7	男性	70代前半	約3分																																																																																		
8	男性	70代前半	約3分																																																																																		
9	男性	70代前半	約3分																																																																																		
10	男性	70代前半	約3分																																																																																		
11	男性	70代前半	約3分																																																																																		
12	男性	70代前半	約3分																																																																																		
13	男性	70代前半	約3分																																																																																		
14	男性	70代前半	約3分																																																																																		
15	男性	70代前半	約3分																																																																																		
16	男性	70代前半	約3分																																																																																		
17	男性	70代前半	約3分																																																																																		
18	男性	70代前半	約3分																																																																																		
19	男性	70代前半	約3分																																																																																		
20	男性	70代前半	約3分																																																																																		
<h3>世界遺産センター</h3> <p>【来場者コメント】20代男性</p> <ul style="list-style-type: none"> 横浜から高速バス等でここまで来た。 ここから先どうするかをまだ考えていない。（地図を見ながら）レンタサイクルやぎんざんカートなど様々な手段があるからどうしようと思ひ中 <p>【来場者コメント】60代男性</p> <ul style="list-style-type: none"> 受付の赤羽の方のコメント(60代女性) <ul style="list-style-type: none"> 受付を担っている。石見交通が指定営業 今の有料展示は大田市石見銀山線が 豊田 前はバスの本数も多かったが、運転手も不足し、利用も落ち込み減便になっている。 	<h3>おつたえしたい提案</h3>  <ul style="list-style-type: none"> A: サービス（ハード） B: サービス（ソフト） C: インフラ D: ビジネスモデル E: まちづくり 																																																																																				
<h3>A: サービス（ソフト）</h3> <ul style="list-style-type: none"> 【ぎんざんカート（ソフト改善）】 <ul style="list-style-type: none"> 大森町見直し計画 ぎんざんカート（運転手など） 【ウェブ情報】 <ul style="list-style-type: none"> 「はじめての石見銀山」サイトへの誘引 玄関の一本化（世界遺産センター） 【ニーズ多様化への対応・利用促進】 <ul style="list-style-type: none"> 観光マップの改善 <ul style="list-style-type: none"> QRコード、歴史解説など 「ぎんざん館」と共通のシステム 「知らない」と十分申しえない ニーズに応じたプラン提案 <ul style="list-style-type: none"> 滞在時間、家族連れなど 	<h3>B: サービス（ハード）</h3> <ul style="list-style-type: none"> 【シェアサービス】 <ul style="list-style-type: none"> 石州黄色の電動トクトック EVシェアリング 【グリスロハード】 <ul style="list-style-type: none"> 除隊式自動運転車両の導入 車両増結 																																																																																				
<h3>D: ビジネスモデル</h3> <ul style="list-style-type: none"> 【収支改善】 <table border="1"> <tr> <td>カードの料金設定見直し</td> <td>貸客運</td> </tr> <tr> <td>銀山カートに地元広告掲載</td> <td>入城費をもらってモビリティ充実に使う</td> </tr> <tr> <td>客付による運営</td> <td>銀山カートの発注量の積み残しと維持費</td> </tr> </table> 【温泉津】 <ul style="list-style-type: none"> 温泉津の宿の活用バス移動 温泉津温泉を含めた圏域移動 大森から大田市駅or温泉津駅までのアクセス改善 	カードの料金設定見直し	貸客運	銀山カートに地元広告掲載	入城費をもらってモビリティ充実に使う	客付による運営	銀山カートの発注量の積み残しと維持費	<h3>E: まちづくり</h3> <ul style="list-style-type: none"> 【安全】 <ul style="list-style-type: none"> 小さい子供の遊び場 安全対策強化 大森市内で自転車の道徳啓発 【住民満足度】 <ul style="list-style-type: none"> CIVIC PRIDE 健康である方が多いということから好き、高い、なんとなくここがいいと大森にされている誇りや絆がたええる CIVIC PRIDE おもてなし、地域をリクエスト丸呑みしなく楽しめ CIVIC PRIDE 絆を創るに貢献 市民意識の高まり の絆が育 【まちづくり】 <ul style="list-style-type: none"> 駅前にも街並み 空き地、空き家が多すぎる 半信半疑で住んでいいか？ 30坪中の倉庫・10坪のダイキヤを改装して1時間1000円貸付 「歩く」「遊ぶ」「乗る」の3ハタチの活性化 「車」-世界遺産センター「バス」-代官所のパターン化 																																																																														
カードの料金設定見直し	貸客運																																																																																				
銀山カートに地元広告掲載	入城費をもらってモビリティ充実に使う																																																																																				
客付による運営	銀山カートの発注量の積み残しと維持費																																																																																				

【政策課題検討会の状況（全グループ）】



【全体討論会・講評の状況】



4. アンケート結果等

参加者へのアンケートおよび事後学習の結果の一部を抜粋して下記に示す。

〈参加目的〉

- 養成研修会への参加目的は主に下記3点である。
 - まちづくりや地域の課題解決の手法の経験・理解
 - 知識・経験を吸収し、所属する組織にフィードバック
 - 公共交通の今後のあり方の検討のきっかけ
- 参加者のほとんどが目的を達成できたと回答している。

〈プログラムの内容〉

- 参加者からは主に下記2点が評価できたという意見が挙げられている。
 - 講師や参加者の方から、様々な視点や考え方を共有することができた。
 - 現地調査や、ヒアリング調査によって住民・観光客の生の声を聞くことができた。
- 個別の実施内容については、下記のような感想が挙げられている。
 - 当地域を知らない人には貴重な情報を知る機会となった。グリスロに対する地元の意見が良かった。(講習について)
 - 時間が短く、検討ではなく意見交換となり、内容の考察や根拠が薄くなってしまった。時間が短く、もっと議論したかった。(グループ別見学会・政策課題検討会について)
 - 事前学習がないと課題も抽出できずその先の議論を深掘できないため必要。(事前学習)
- 事後学習レポートとして、下記のような感想が挙げられている。
 - 想像以上にタイトな研修だったが、地域課題解決のプロセスを様々な業種・立場の方と議論し、自分では気づかない視点を知ることができた。
 - 政策課題検討会は、現地視察が中心だったが、普段何気なく通り過ぎているところに地域公共交通がより良くなるヒントがたくさんあることを学んだ。
 - 短時間で課題の抽出、改善案まで議論するのは大変だが、限られた時間でグループとして考えをまとめるのは良い経験になった。

〈養成研修会への要望等〉

- 全体を通して、「様々な立場(自治体、事業者等)の方の視点、意見に接することができた」、「ひたすら地域交通、地域課題と向き合う機会」という意見があり、参加者のほとんどが今後も実施が必要であると回答している。
- 「様々な交通事業者や観光協会など、異なる分野の方の意見を聞きたい。」というコメントもいただいた。

以上